



株式会社 エフ・シー・シー



# 第12次中期経営計画 進捗（2024年度）

2023～2025年度

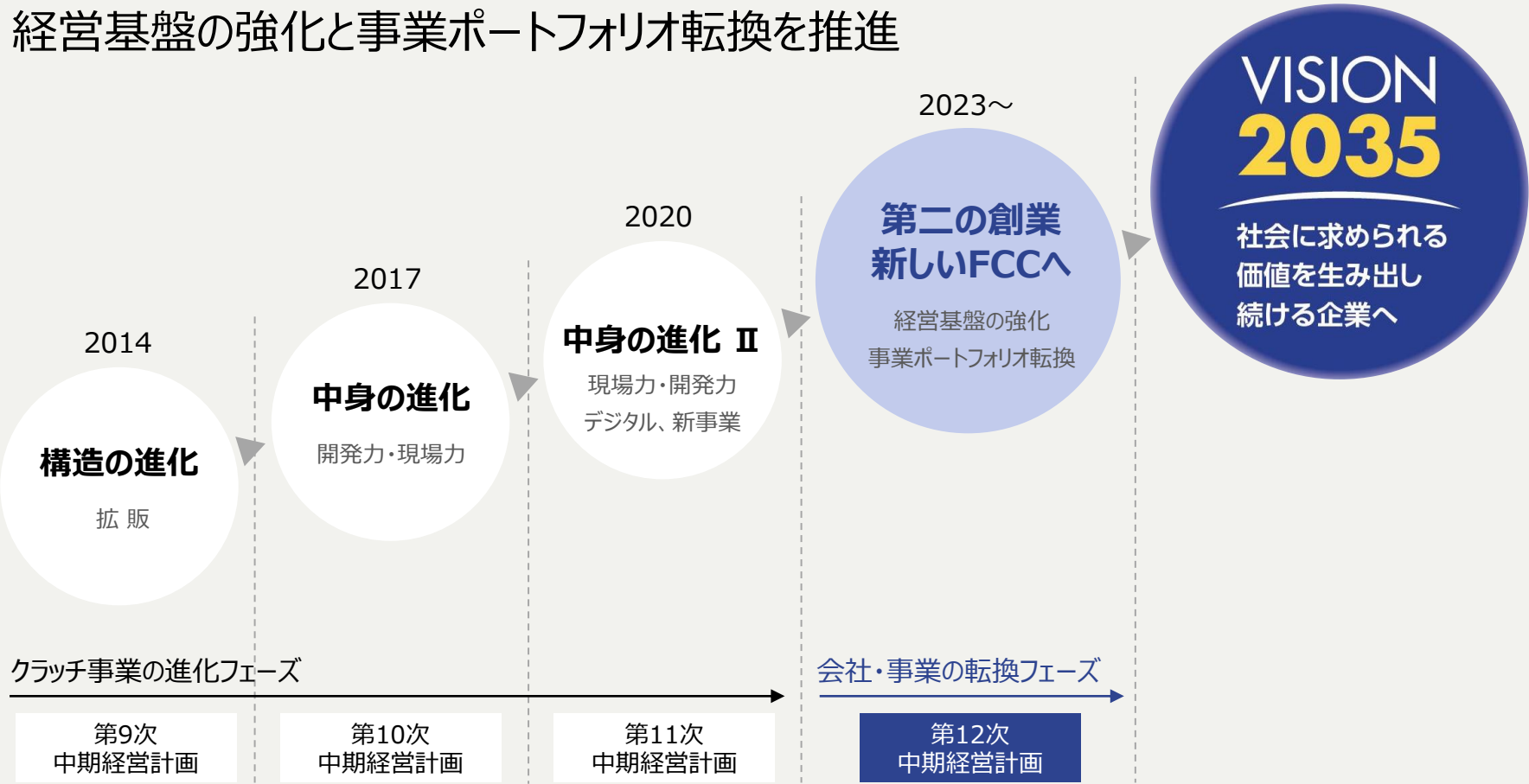
URL : <https://www.fcc-net.co.jp/>

東証プライム 証券コード : 7296

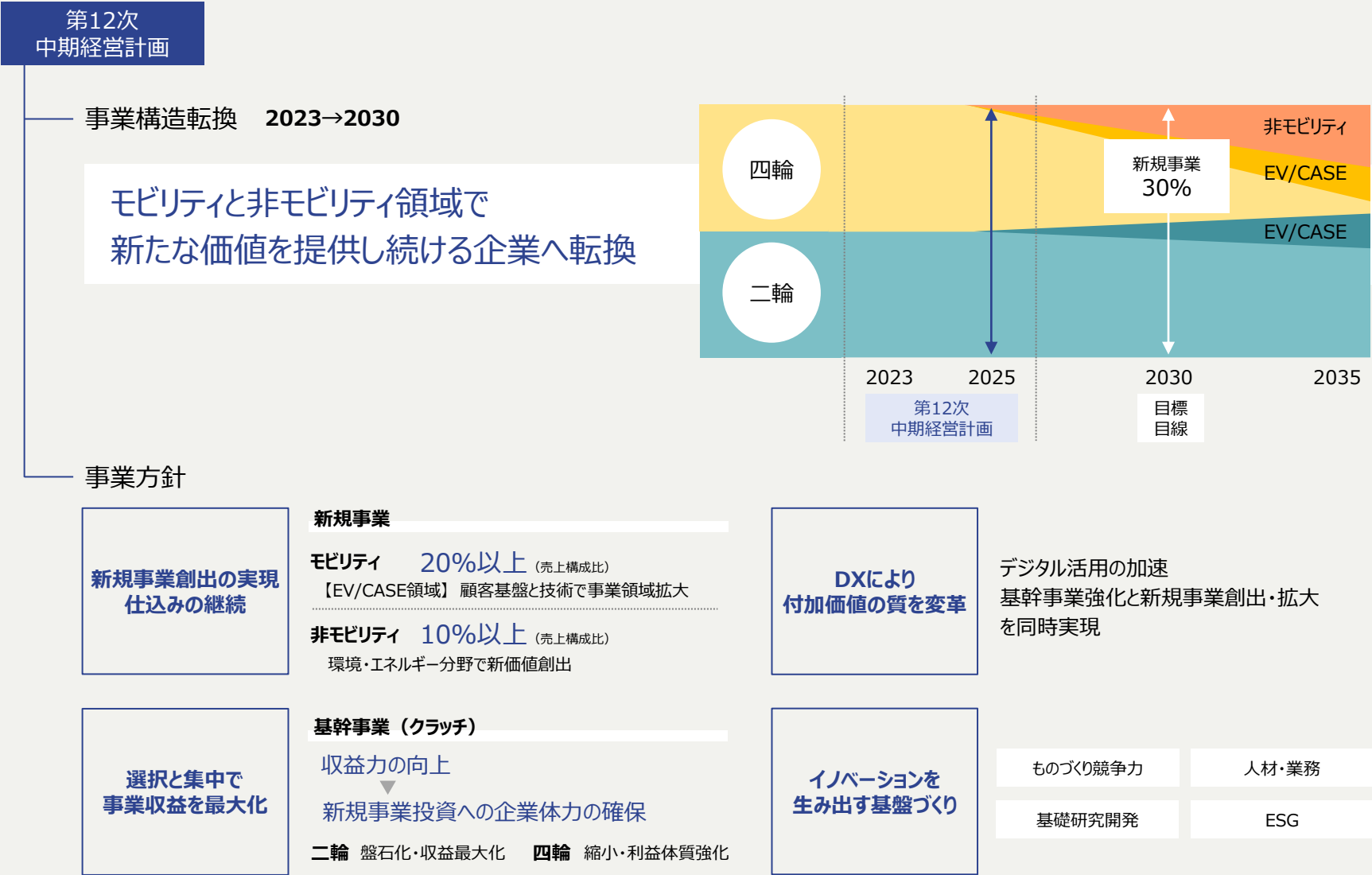
2025年5月19日

# 第12次中期経営計画 全体像 1/2

第二の創業に向け、  
経営基盤の強化と事業ポートフォリオ転換を推進



# 第12次中期経営計画 全体像 2/2



## 第12次中期経営計画 主要指標の進捗

- 基幹事業における、二輪車用クラッチの拡大や為替の円安効果もあり、売上収益、営業利益、ROE共に1年前倒しで中計目標値を達成
- 積極的に新規事業（成長領域）へのリソースを投入、受注・量産開始フェーズへ一部移行

|                      | 2023年度<br>中計1年目<br>実績    | 2024年度<br>中計2年目<br>実績 | 2025年度<br>中計3年目<br>目標値 |
|----------------------|--------------------------|-----------------------|------------------------|
| 売上収益（億円）             | 2,403                    | 2,566                 | 2,340                  |
| 営業利益（億円）             | 151                      | 173                   | 160                    |
| ROE                  | 7.1%                     | 8.6%                  | 8.0%                   |
| 総還元性向                | 40.7%                    | 78.2%                 | 40%                    |
| ポートフォリオ転換に向けた<br>取組み | 成長領域へリソース投入<br>一部量産準備へ移行 | 受注・量産開始<br>フェーズへ一部移行  | 仕込みの完了<br>売上金額:30億円    |
| 為替レート（円/USドル）        | 144.63                   | 152.58                | 135.00                 |

# 第12次中期経営計画 全社戦略進捗概要

- 経営基盤の強化は、計画通り前進
- 事業ポートフォリオ転換は、二輪・四輪（EV/CASE領域）が先行して前進

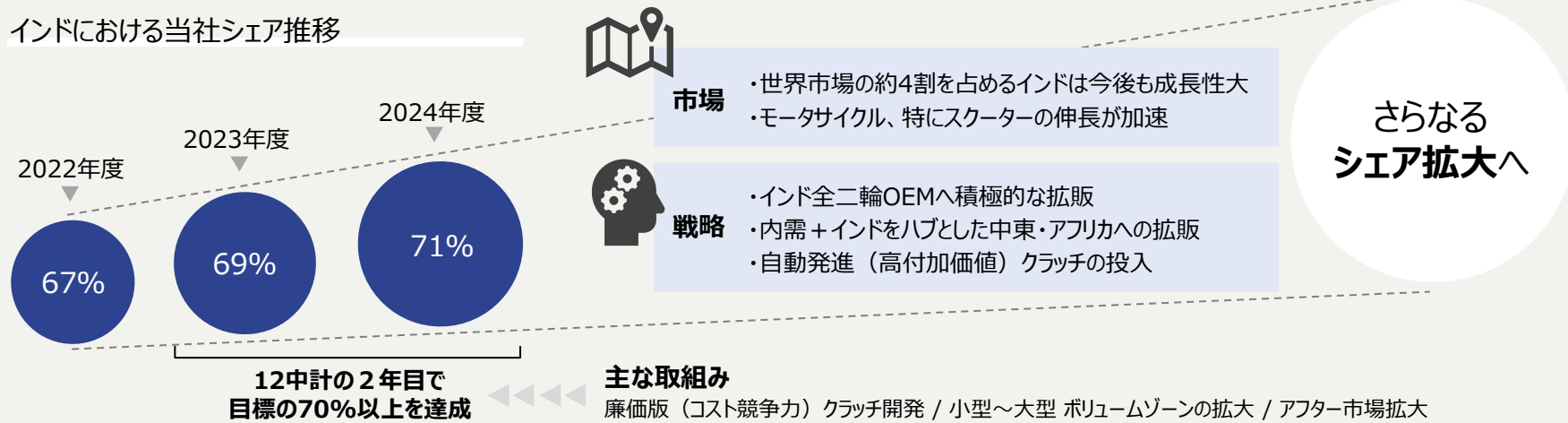
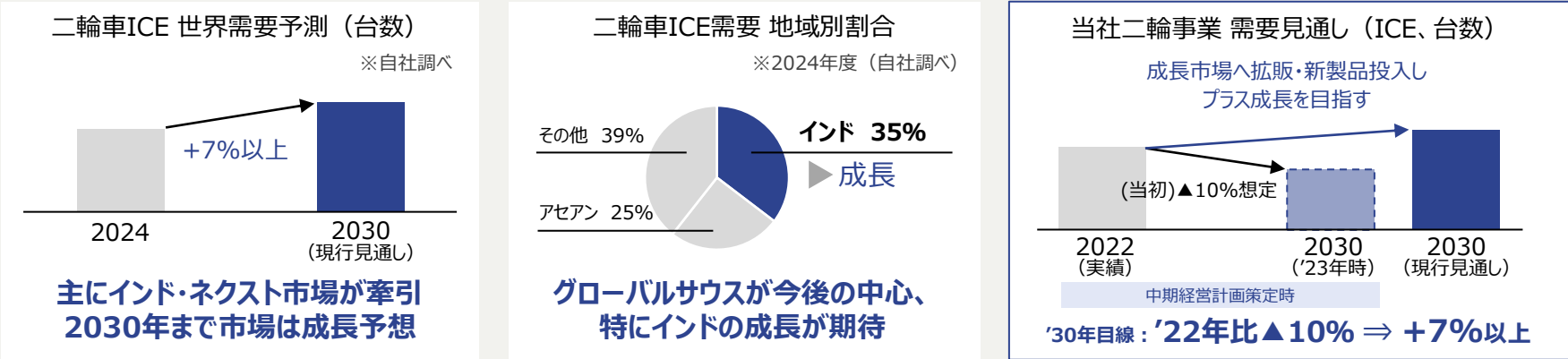
| 全社戦略        | カテゴリー             | 主な進捗と取組み                                                                                                                  | 判定 |
|-------------|-------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 経営基盤の強化     | 二輪事業<br>(基幹クラッチ)  | <ul style="list-style-type: none"><li>・ グローバルサウスの市場成長へ確実に追従</li><li>・ インドのシェア拡大 69%(23年度)→71%(24年度)</li></ul>             | ○  |
|             | 四輪事業<br>(基幹クラッチ)  | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 主戦場の米国はHEV注力</li><li>・ ICE・HEV・BEV動向に応じた対応力を強化</li></ul>                          | ○  |
|             | サステナビリティ<br>ESG   | <ul style="list-style-type: none"><li>・ CO<sub>2</sub>フリー電気の100%導入</li><li>・ 従業員持株会向け譲渡制限付株式インセンティブ制度導入（国内）</li></ul>     | ○  |
| 事業ポートフォリオ転換 | 二輪事業<br>(EV/CASE) | <ul style="list-style-type: none"><li>・ インド・インドネシア 積層モータコア量産開始</li><li>・ ベトナム二輪EVメーカーDAT BIKE社業務提携 独自e-Axle受注獲得</li></ul> | ○  |
|             | 四輪事業<br>(EV/CASE) | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 中国 積層モータコア量産準備開始</li><li>・ 米国 BEV車両向け車載電子機器アルミケース、ヒートシンクの受注獲得</li></ul>           | ○  |
|             | 非モビリティ事業          | <ul style="list-style-type: none"><li>・ セラミックセッター量産開始、LiB用導電助剤量産準備</li><li>・ 25年度売上目標の30億円は、上市遅れもあり下方修正</li></ul>         | △  |

二輪事業

基幹クラッチ

(市場需要のアップデートと取組み)

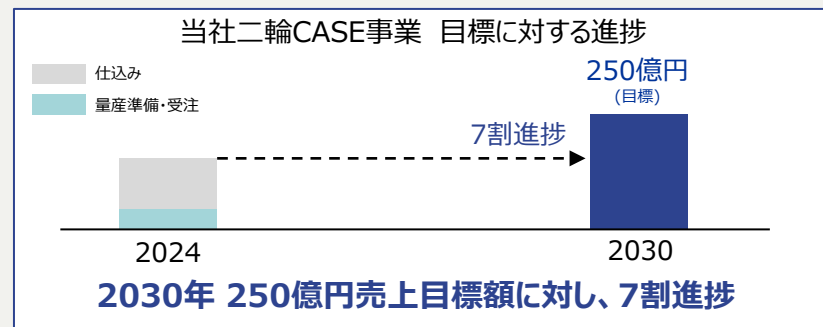
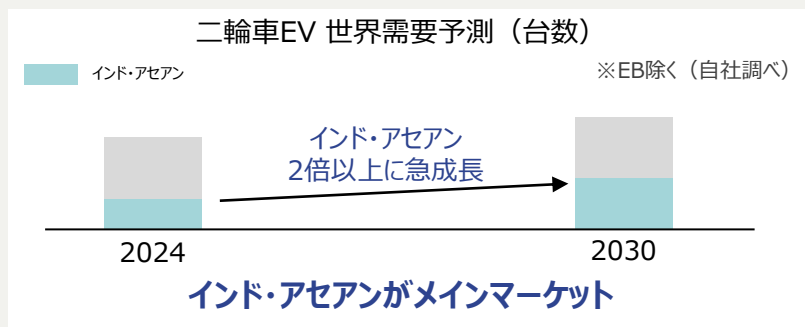
○ インドを軸とした、事業拡大は順調に進捗 ～引き続きグローバルマーケットリーダーの維持/拡大を目指す



## 二輪事業

EV・CASE

- 基幹事業で培ったグローバルアセットと顧客基盤、技術力を活かし、インド・アセアンを中心に拡大



### 戦略と取組み

#### 電動基幹部品

モータコア等



電動基幹部品の量産開始、  
商品群の拡大

**モータコア**：HONDAより受注 2024年度～  
量産開始（インド・インドネシア）

**EV車体構成部品**：海外OEMから複数受注  
2024年度～量産開始  
（ベトナム・インド）

**他基幹部品**についても、開発、拡販を推進

#### パワーユニット

モータAssy・  
PCU/VCU



独自e-Axleの受注獲得、  
量産開発と量産準備へ

ベトナム二輪EVメーカーDAT BIKE社との業務提携を締結  
➡独自e-Axleの搭載  
ベトナムからアセアン各国展開の戦略的パートナーへ

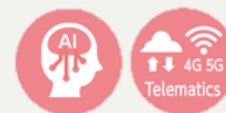
New  
当社e-Axle



db  
DAT.BIKE × F.C.C.

#### 更なる付加価値

データビジネス・  
アプリケーションサービス



ものづくりノウハウ × アライアンスにより  
B to B、B to Cビジネス開発を推進

・Rebright PartnersとのファンドLP出資を  
通じたパートナーシップ  
・デジタルサービス事業開発着手、  
ソーシングターゲット選定

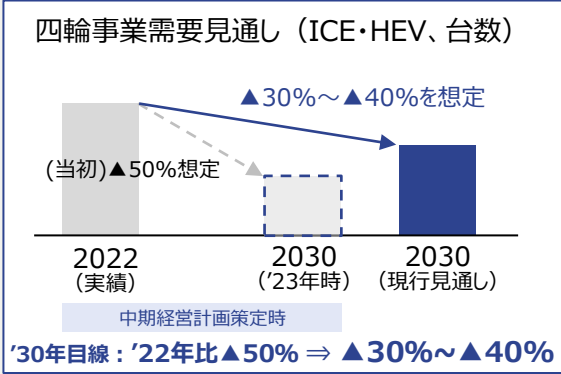
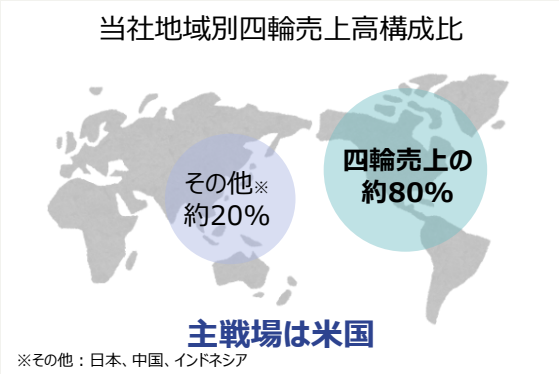
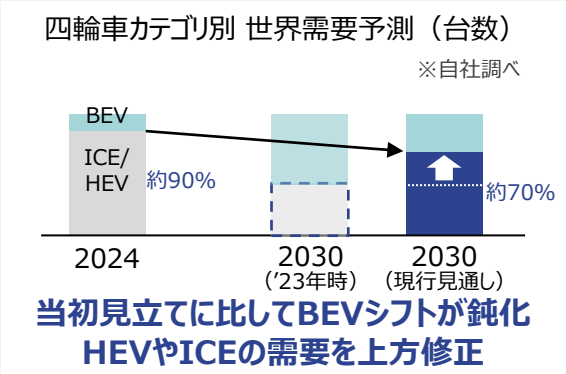
四輪事業

基幹クラッチ

EV・CASE

(市場需要のアップデートと取組み)

- 米国はHEV注力、ICE・HEV・BEV動向に応じた対応力を強化



カテゴリー別の進捗と戦略

| カテゴリー       | 市場変化とFCC対応力                                              | 進捗と戦略                                                                                                                          |
|-------------|----------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ICE/<br>HEV | 主戦場の米国<br>ICE生産ラインをHEVへ活用し<br>利益体質の維持継続                  | 米国：HEV拡販、開発リソースを再投入<br>マーケット動向に応じ、リソースを最大活用し キャッシュ創出を推進                                                                        |
| BEV         | 足元ではBEV鈍化<br>中長期ではBEV化シフト<br>ICE/HEVで培ったアセットと<br>ノウハウを投入 | 積層モータコア<br>SUBモジュール領域<br>中国：積層モータコア量産準備開始<br>➡米国・インド・日本へ展開<br>アルミDC<br>熱マネジメント領域<br>米国：車載電子機器のアルミケース、アルミヒートシンク受注<br>中国：電動車部品受注 |

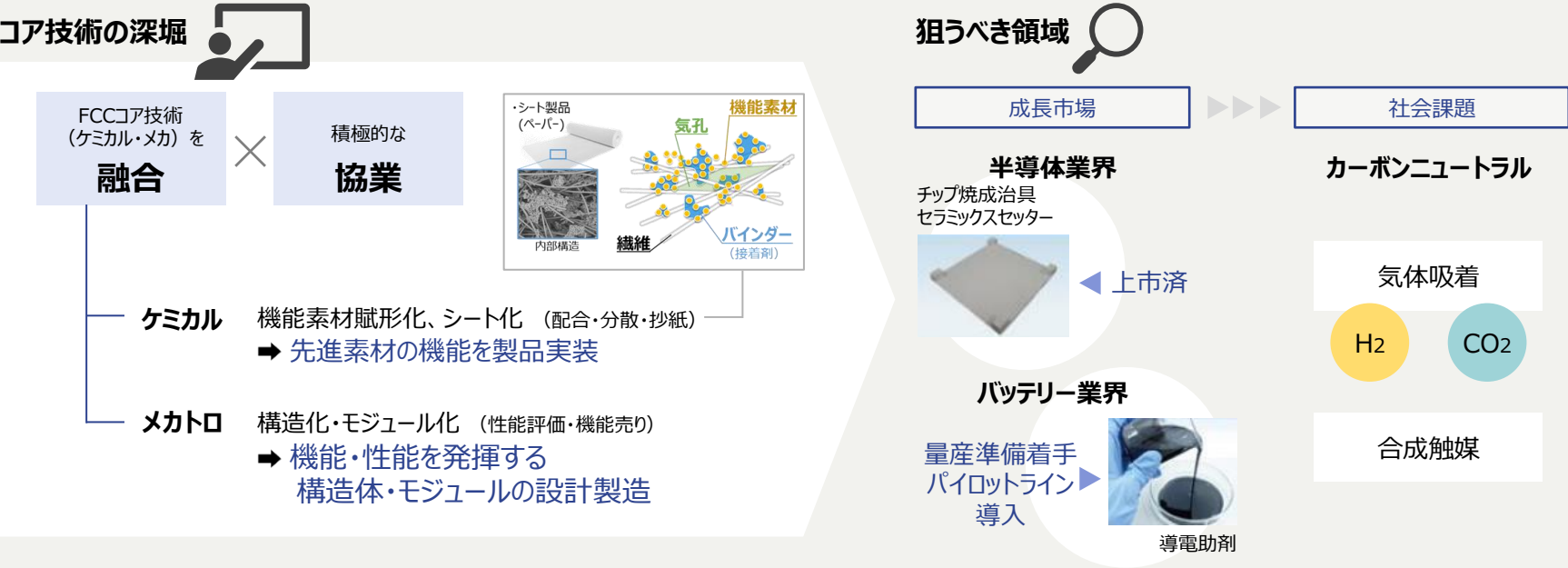
非モビリティ事業

- 成長市場のセッターと導電助剤は、それぞれ一部上市と量産準備へ
- 一方、2025年度売上高は上市遅れもあり目標を下回る見通し（目標：30億円 ➡ 約3億円）



今後の取組み

2030年新事業創出に向け、短期～長期でのリソース配分を再設計  
（コア技術の深堀と狙うべき領域を定義）



## ESG

### E CO<sub>2</sub>削減状況とエネルギー削減に向けた主な取り組み

2024年度CO<sub>2</sub>排出量（前年度比） 8%削減

2030年CO<sub>2</sub>排出量50%削減目標（2013年度比） 全体では目標未達

国内 主にCO<sub>2</sub>フリー電気導入により、目標達成

海外 主に太陽光発電設備導入などの施策の推進は行ったものの、生産量増加により、目標未達

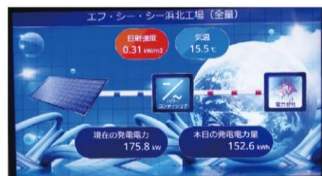
#### 再生可能エネルギー導入に向けた主な取り組み

##### ○ 太陽光発電設備導入

日本：浜松地域（浜北、渡ヶ島）

海外：インド、中国佛山、台湾

太陽光発電設備 ー浜北工場ー



##### ○ CO<sub>2</sub>フリー電気の100%導入

浜松地域、鈴鹿地域

地球にやさしく、未来をあかるく。



地球にやさしく、未来をあかるく。



## ESG



### 人材戦略3つの柱の進捗状況

#### 多様性

##### 柔軟な働き方を支える制度強化

- ・働き方の選択肢拡充  
育児・介護と仕事を両立できる柔軟な制度を整備
- ・職場環境の最適化  
ライフイベントとキャリア形成の両立を支援



#### 人材育成

##### 「新しいFCC」実現に向けた人材育成の再設計

- ・変革に強い人材の育成  
事業変化に対応できる柔軟な学びの場を提供
- ・多様なリーダーの創出  
女性のキャリア形成と意識改革を促す研修を展開



#### エンゲージメント

##### 従業員エンゲージメント向上を目的とした 従業員持株会向け譲渡制限付き株式インセンティブ制度導入



##### 従業員持株会加入率

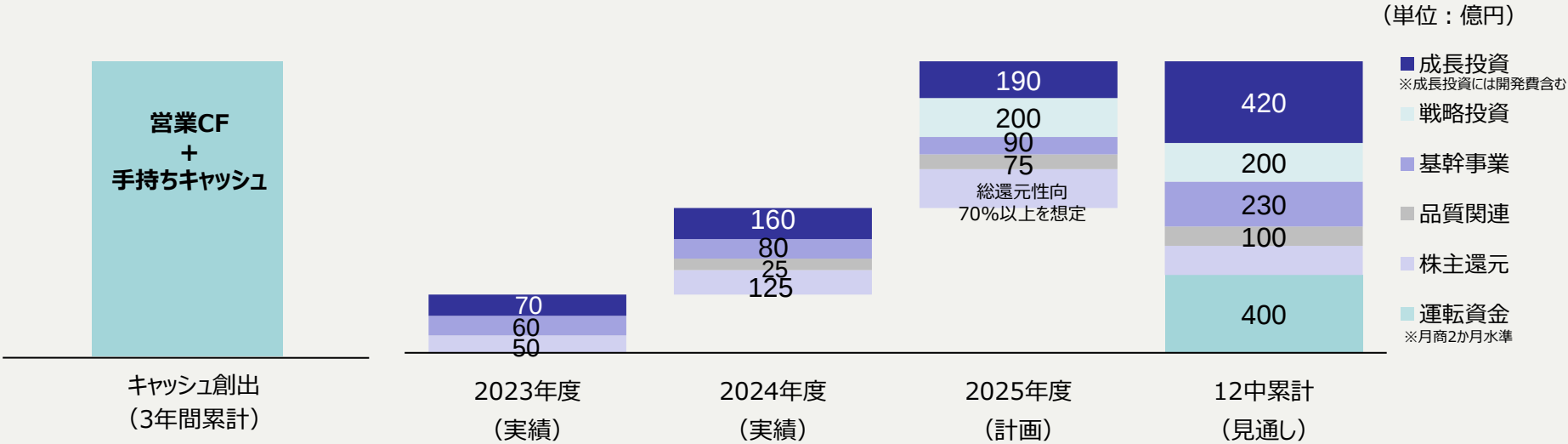
制度導入前：約20%



制度導入後：約80%

キャッシュアロケーション 進捗

- 事業ポートフォリオ転換に向け、成長投資を中心に資金を投下
- また、基幹事業については、投資効率を意識し二輪クラッチを中心に投資

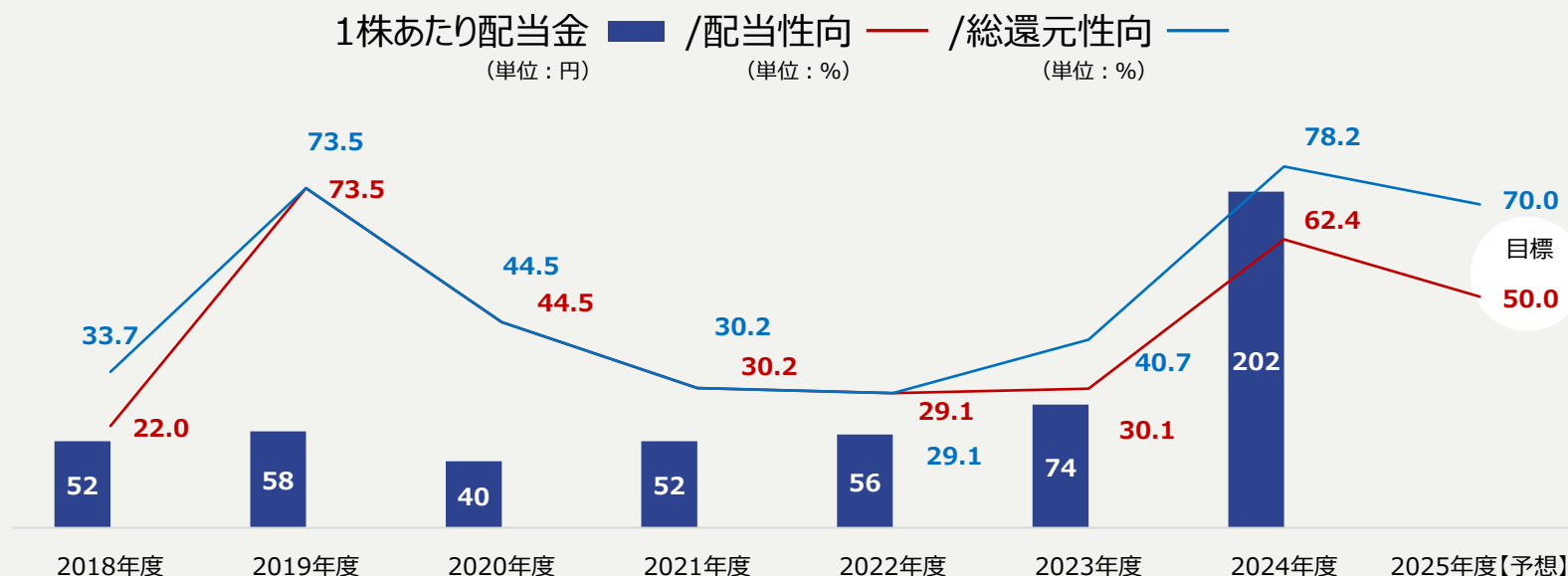


| カテゴリ   | 主要内容                                | (単位：億円)                             |
|--------|-------------------------------------|-------------------------------------|
|        | 2024年度 (実績)                         | 2025年度 (計画)                         |
| 成長投資   | 二輪CASE : 13 四輪CASE : 67 非モビリティ : 80 | 二輪CASE : 29 四輪CASE : 74 非モビリティ : 87 |
| 戦略投資   | —                                   | 二輪CASE : DAT BIKE資本業務提携に一部投入        |
| 基幹事業投資 | 二輪クラッチ : 47 四輪クラッチ : 33             | 二輪クラッチ : 55(インド能力拡大等) 四輪クラッチ : 35   |
| 品質関連   | 品質関連費用 25                           | 品質関連費用 75                           |

## 株主還元



- 2024年度は、12次中期経営計画の進捗達成度を踏まえ、期初公表から還元を拡充
- 2025年度は、中計目標（総還元性向40%）を上回る70%以上を想定



配当 ▶ **期初公表から増配、年間202円** (前年比+128円)  
中間配当: 101円 (普通配当38円、記念配当63円)  
期末配当: 101円 (普通配当38円、記念配当63円)

自己株式取得 ▶ **25億円 (822千株)**

# 持続的な企業価値向上に向けて 1/2

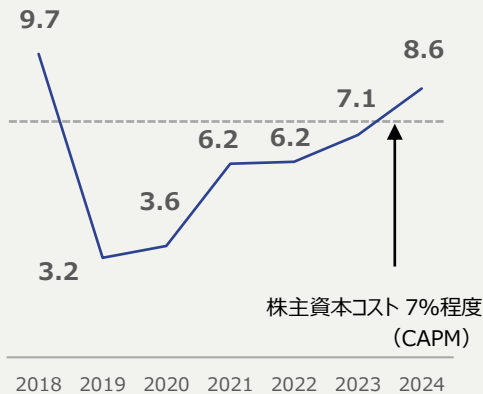
## 現状分析と今後の課題

- 各種指標は回復傾向だが、PBRは1倍割れの状況でありROE・PERの更なる改善が課題
- 将来の成長に向け、当面は新規事業のコスト増を上回る基幹事業の収益力の向上を軸に株主資本コストを安定的に上回るROEを目指す

PBR（株価純資産倍率）（単位：倍）



ROE（自己資本利益率）（単位：％）

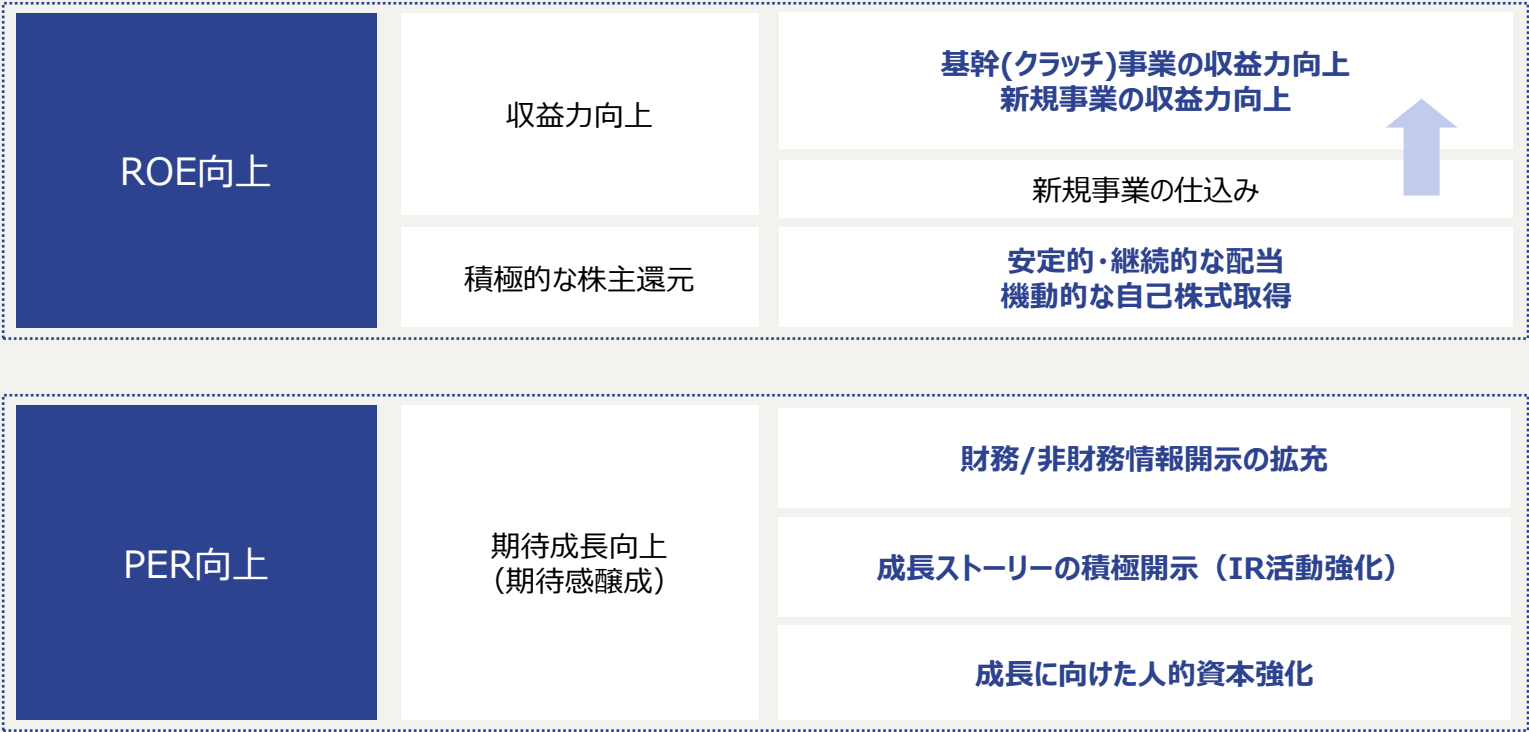


PER（株価収益率）（単位：倍）



PBR改善への今後の取組み

- ROEは、基幹事業の収益力向上を軸に、新規事業の収益力向上を図る
- PERは、財務・非財務情報、成長ストーリーの積極開示と成長に向けた人的資本強化を図る





株式会社 エフ・シー・シー



END